

稿 KŌCHŪ 虫

ムモンズジバネゴミムシの記録

深町 宗通

ムモンズジバネゴミムシ *Heteroglossa formosana* (JEDLIČKA) は本邦ではトカラ列島宝島における記録が知られているのみで、その他の地域では、分布の可能性の強い他の南西諸島を含めても、記録されていないようである。筆者は佐賀県白石町の有明において、本種を採集しているので報告しておきたい。

10 exs., 佐賀県杵臼郡白石町有明干拓, 5. vi. 1976
2 exs., 同上, 10. X. 1976
(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

三宅島における

キボシアトキリゴミムシの記録

深町 宗通

キボシアトキリゴミムシ *Anomotarus stigmula* (CHAUDOIR) は本邦では、本州・四国・九州 (いずれも沿岸地帯)・対馬 (未発表)・薩南諸島・八重山諸島 (石垣島) で採集されているが、伊豆諸島からはまだ記録がないようである。筆者は次の標本を所持している。

2 exs., 三宅島鵜ヶ浜, 12. V. 1975, 守屋健次採集
末筆ながら、標本を恵与された守屋健次氏、および文献の手配の労をいただいた藤田宏氏に深謝したい。

参考文献

A. HABU (1967): Fauna Japonica, Carabidae Truncatipennes Group

渡辺・相馬(1968): 農学集報, 17 (1)
(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

シリグロナカボソタママムシの

福島県における記録

矢田 秀雄

シリグロナカボソタママムシ *Coraebus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は採集例の少ない種で、北海道(札幌)および本州の新潟・山梨・和歌山各県下より記録されているが、タイプ標本を含めても計5頭が採集されているにすぎない。筆者は本種を福島県下で採集しているので報告しておきたい。

1 ♀, 福島県南会津郡湯の花, 2. vii. 1977

鱒沢のチップ工場で、シナノキカブナと思われる直径20cm位の伐採木に静止していたものである。

なお、本種の同定は藤田宏氏にお願いした。

(〒174 板橋区坂下 1-4-12 オリエンタル寮)

ナガハムシ亜科6種の記録

今坂 正一

日本産ナガハムシ亜科(Zeugophorinae)は、大野¹⁾によると1属11種が知られているが、このうち、比較的普通なワモンナガハムシを除くと、ほとんどの種が珍しいものようであるので、現在筆者の手元にある6種について記録を書いておく。貴重な標本を恵与された、江本健一、小倉直樹、三陰外茂治、山地治、渡辺昭彦の各位に厚く感謝申し上げる。

1. ムナグロナガハムシ

Zeugophora (Pedrillia) nigricollis (JACOBY)

1 ex., 長野県蓼科白樺高原, 11. vii. 1976, 江本健一採集; 1 ex., 石川県白山, 17. iv. 1973, 三陰外茂治採集; 1 ex., 岡山県上斉原三ヶ上岳, 31. v. 1972, 山地治採集

従来、長野県などの中部高地および四国で得られている。岡山の記録はかなり面白いものと思われる。

2. キイロナガハムシ

Z. (P.) gracilis unicolor (CHŪJŌ)

1 ex., 沖縄本島与那演習林, 10. vi. 1975, 小倉直樹採集

中条²⁾により1958年に記載されたが、その後の採集例は報告されていないようである。本種は次種アカイロナガハムシによく似ているが、より細く、触角は長く、前・中・後肢とも赤褐色で、次種のように中・後肢の一部が黒くなることはない。(写真左)

3. アカイロナガハムシ

Z. (P.) varipes (JACOBY)

1 ex., 長崎県雲仙岳, 26. viii. 1975, 筆者採集
次種ワモンナガハムシについて個体数が多く、分布も広い。本州・四国・九州に分布する。

